

水産庁

プレスリリース

平成24年4月11日
水産庁

「2012年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(春季沿岸域調査)」の実施について

「第二期北西太平洋鯨類捕獲調査計画」に基づき、宮城県石巻市鮎川沖で鯨類捕獲調査が実施されます。

1. 調査の目的及び概要

本調査は、鯨類の摂餌生態をより詳細に解明し、海洋生態系の総合的管理に貢献するため、毎年、春と秋に実施されているものです。例年、春は宮城県石巻市鮎川沖、秋は北海道釧路沖でミンククジラの捕獲調査を実施しており、胃内容物の餌生物種の同定、内容物量の測定、生物学的情報の収集等を行っています。なお、昨年の春は、東日本大震災により、鮎川沖での調査実施が困難となったため、釧路沖で実施されました。本調査は、国際捕鯨取締条約第8条に基づき、農林水産大臣の許可を受けて実施されるものです。

2. 調査実施主体

一般社団法人 地域捕鯨推進協会
調査総括 加藤 秀弘(東京海洋大学 教授)
調査団長 安永 玄太(財団法人 日本鯨類研究所)

3. 調査期間

平成24年4月12日(木曜日)から5月下旬まで(捕獲上限頭数に達し次第終了)

4. 調査海域

宮城県石巻市鮎川港を中心とした半径50マイル以内の海域

5. 調査参加船

標本採集船: 4隻

6. 捕獲対象種及び捕獲上限頭数

ミンククジラ60頭

— お問い合わせ先 —

資源管理部国際課
担当者: 捕鯨班 中奥、松尾
代表: 03-3502-8111(内線6762)
ダイヤルイン: 03-3502-2443
FAX: 03-3504-2649

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁